

## 修士設計要旨

### 古民家からはじめるコミュニティ

#### -古民家リノベーションの調査と設計-

社会システム工学コース

1215051 池内克徳

社会問題として世間で問題視されて久しい空き家問題。2033年には3軒に1軒が空き家になると予測されている。空き家問題に対して国や各地域で様々な対策がとられているが継続して取り組んでいくことが必要である。その一つとして注目されているのが古民家の活用「古民家リノベーション」である。近年古民家を活用した様々なリノベーション事例があり、リノベーションは建築業界においても重要であり、継続的に考えていかなくてはならない。

さらに、近年の人々の暮らしは極めて閉鎖的で隣近所との付き合いも少なく、プライベート空間とまちのパブリック空間に境界がはっきりと引かれることが多く、個人の住宅はまちに対して閉鎖的である。しかしその一方で、ひと時代昔にまちで見られたコミュニティが、オープンスペースを個人の住宅に取り入れるといった新しい形で見られるようになりつつある。

本稿を通して、古民家リノベーションにおける「オープンスペース」のあり方を事例調査から、古民家リノベーション「貫通型」と、古民家リノベーション「片寄型」の2種類の類型化を行い、その特性を明らかにする。さらに実践設計として古民家のリノベーション提案を行う。